

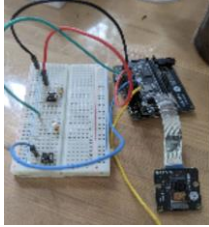
【R7年度実績】

プログラム採択者 23チーム34名（応募者 78チーム101名）

【R7プログラムの成果事例】

Forex Robotics株式会社

有害鳥獣の検知・通知を行うスマート罾デバイスの開発



部品を調達し開発に着手



プロトタイプの完成

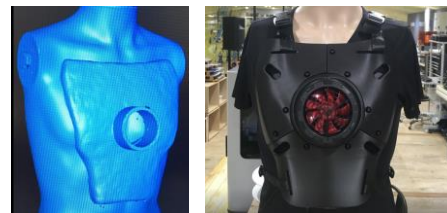
ハードウェア開発未経験者が、電子工作や3DCAD設計を行いプロトタイプを完成し、フィールドでの実証実験を実施。事業化に向けた支援を受けて、販売の準備を進めている。

豪志工業株式会社

強制気化熱型身体冷却器の開発



原理試作



プロトタイプの完成（販売準備中）

FAB機材の活用によりラフモックアップを制作し、素材関連の商社とのマッチングによりプロトタイプを完成させた。事業化に向けた支援を受けて、販売の準備を進めている。

※原理試作：主要機能の根本的原理が正しく働くかを確かめるラフな試作のこと

【R6採択者の継続支援事例】

プログラム終了後もFABによる支援を継続し、社会実装に向けて事業の成長を加速。

株式会社moreover

(令和6年度)

骨盤底筋トレーニングデバイスの開発



ラフモックアップ



プロトタイプ



(令和7年度)

クラウドファンディングでの資金調達



グッドデザイン賞の受賞

試作開発～少量量産体制の構築が可能な企業とマッチングした。グッドデザイン賞の受賞やクラウドファンディングによる資金調達を経て、今夏の事業化を目指している。

参加チームのフェーズや課題に応じて、技術スタッフによるアドバイスや支援先とのマッチングなどの適切な支援を行います。